

荻野小学校地区自治協議会 地域ビジョン

2022－2031

自然豊かで 心つながる
安心安全なまち おぎの



目次

1. 地域の概要	1
2. 人口・世帯数等の推移	1
3. 地域活動の現状	2
4. 地域ビジョン策定に向けての取り組み	2
5. まちづくりの現状と課題 ～アンケートの結果から～	3
6. 荻野小学校地区のめざす姿	4
7. 活動方針・行動計画	
①健康・福祉	5
②地域環境（美化・緑化）	6
③防犯・防災・交通安全	7
④地域の活性化（交流）	8
⑤子どもの健全育成	9
⑥地域拠点	10
⑦地域自治の強化（広報・財源・人材・組織）	11

1. 地域の概要

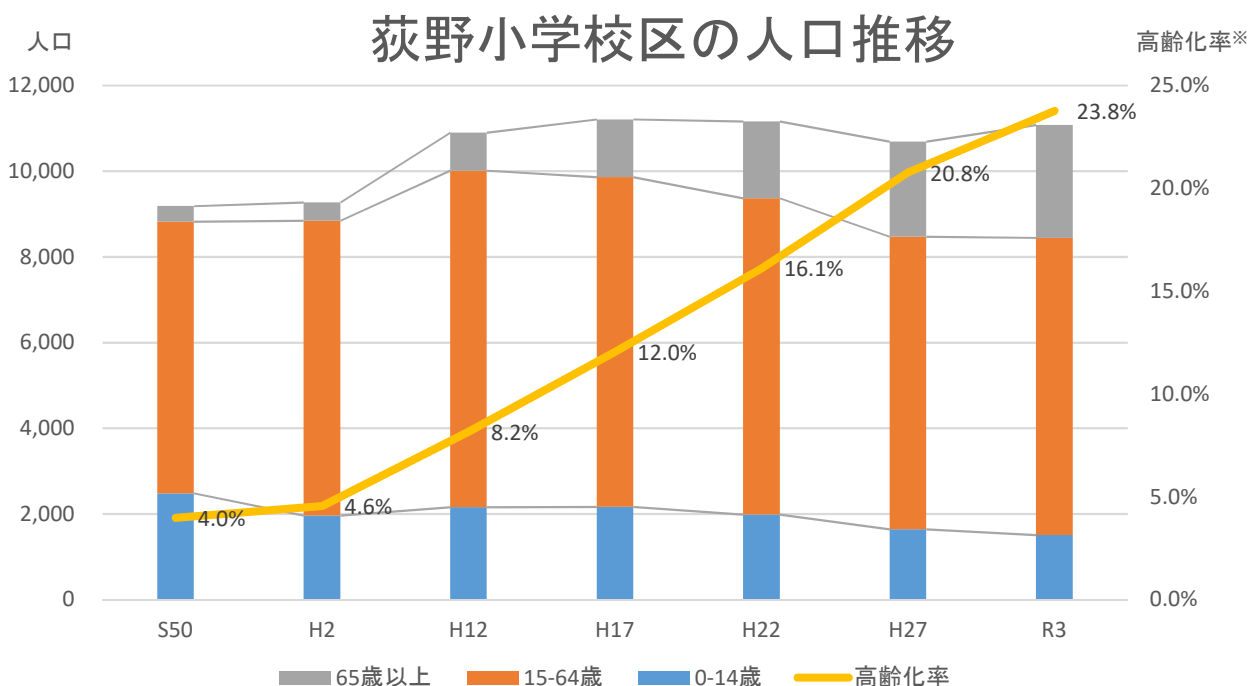
伊丹市の北部に位置し古くから植木の産地として発展した地にあり、緑豊かな自然環境に恵まれた場所にあります。

荻野小学校区は、「荻野」「大野」「東野」の3つの地区からなり、「荻野」「大野」地区は、以前は長尾村の一部でしたが、1955年（昭和30年）に伊丹市へ編入され、1976年（昭和51年）には荻野小学校が開校しました。「荻野」の名前の由来は、扇形の地形であった、「オギ」が密生していたことから、そう呼ばれるようになったと言われています。

江戸時代以降より園芸業が盛んで、現在も地域を代表する産業として受け継がれていますが、明治43年には、当時から高い園芸技術を持っていた東野の桜の台木と東京荒川にある桜の穂木を接ぎ木して、日米友好の証としてアメリカに贈られたことも有名です。

現在でも、田畑や天神川沿いの自然、神社や寺などの建物なども多く残っており、交通や生活環境の便利さの中にも、自然環境によるゆとりを感じられる地域となっています。

2. 人口・年齢構成の推移



人口は、この20年はほぼ横ばいとなっていますが、年齢構成においては、少子高齢化が顕著に進んでおり、地域で抱える課題も変化しています。

また、今後は人口減少や定年延長や共働きの増加など働き方の変化により、これまでの地域活動の担い手がますます減っていくことが考えられます。

これからは、地域の課題やニーズを住民自らが把握し、住民ひとりひとりが自分ごととしてとらえ、課題解決に向けた活動につなげていく力が求められています。

3. 地域活動の現状

(1) 荻野小学校地区自治協議会について

荻野小学校地区では、校区内の自治会や各種団体により構成されていた「荻野小学校地区社会福祉協議会」として活動してきましたが、令和元年度より地域組織の基盤強化を目的として、伊丹市の条例に基づく「地域自治組織」の設立の検討が進められ、令和2年度総会（評議員会）にて、「荻野小学校地区自治協議会」が設立されました。荻野小学校地区自治協議会でも引き続き、自治会や各種団体が連絡調整を図り、その協働によって住みやすい地域を作ることを目的として活動をしています。

(2) 各専門部会の活動について

荻野小学校地区自治協議会では、現在8つの専門部会が各分野で幅広い活動を実施しています。

1.総務部会	協議会の組織運営、行政及び関係機関との連絡・調整、及び協議会全体で取り組む事業の企画・調整に関することを行っています。
2.福祉部会	地区住民誰もが安心して暮らせるような福祉の輪づくりを推進するために必要な活動を行っています。
3.生活環境部会	地区住民が、健康で明るく安心して生活するために必要な保健衛生、生活環境の整備等の活動を行っています。
4.防犯・防災部会	安心・安全のまちづくりのため、地域の保安につとめています。
5.地域交流部会	老人相互の交流及び老人と地域との交流を深めるために必要な活動を行っています。
6.青少年部会	青少年の健全育成を図るために必要な活動を行っています。
7.婦人部会	婦人相互の交流及び婦人と地域との交流を深めるために必要な活動を行っています。
8.広報部会	地区住民に対し、この会への理解及び協力を深めるために啓発活動を行っています。

4. 地域ビジョン策定に向けての取り組み

「地域ビジョン」とは、荻野小学校区の目指すべき将来像やその実現に向けた目標・行動計画をまとめたものです。

令和2年度から2年間をかけて、荻野小学校区内にお住いの皆様を対象とした全住民アンケートや、小学校と協働で実施したまちあるき、3回に渡る意見交換会（うち1回は書面開催）など、コロナ禍にもかかわらずたくさんの方にご協力いただき、皆で意見を出し合い、作り上げることができました。

規約改正（令和2年6月書面総会にて）

荻野小学校地区社会福祉協議会から荻野小学校地区自治協議会へ生まれ変わりました。

全住民アンケート実施（令和2年11月実施 配布：4472世帯 回答：841世帯 回答率：18.8%）

全住民にアンケートを配布。ニーズや実態を調査しビジョン策定の取組みについて住民への周知を行いました。

まちあるき（令和3年5月10日実施）

荻野小学校3年生と一緒に、大野・荻野・東野の3ルートに分かれて実施しました。地域の歴史なども調査し、子どもたちや地域住民へ解説し、実際に歩きながら、自分たちの地域の「いいところ」や「課題」を調査しました。

子どもたちと行う「まちあるき」は、市内でも初めての取り組みでした。



小学生とのまちあるきの様子

アンケート報告会・第1回意見交換会（令和3年10月5日実施）

アンケートの結果もふまえながら、地域の資源・課題を抽出し共有しました。また、今後の活動のアイデアも意見交換しました。

第2回意見交換会（令和3年11月26日実施）

地域の現状と課題を踏まえ、分野ごとの具体的な事業を検討し、全体の将来像をイメージしました。



意見交換会の様子

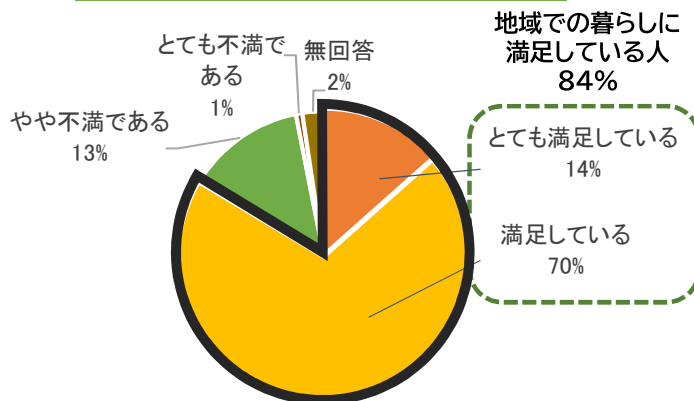
第3回意見交換会（令和4年3月書面開催）

理事会と総務部会のメンバーを中心に、各事業をいつまでに誰が実施していくかを具体的に検討しました。

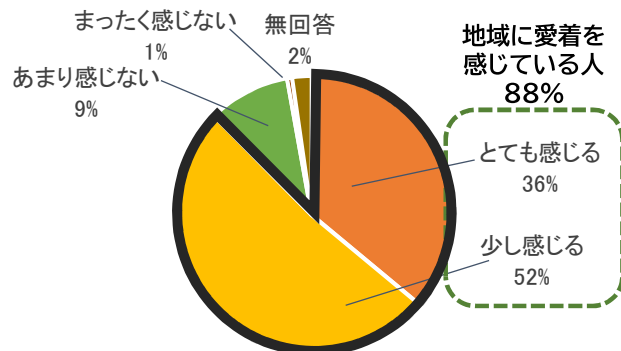
5. まちづくりの現状と課題 ～アンケート結果から～

- (1) 調査対象 4,472件 荻野小学校区内の全住民（世帯単位）
 (2) 調査時期 令和2年（2020年）11月
 (3) 回収数 841件（回収率 18.8%）

荻小地域での暮らしの満足度



荻小地域への愛着度



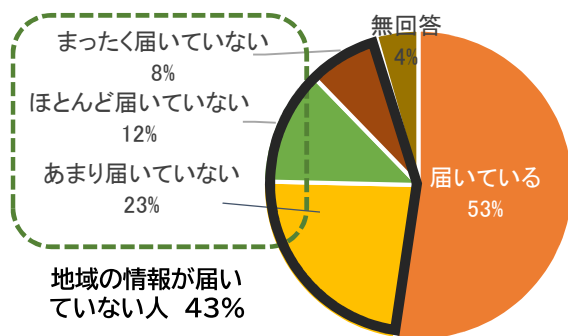
荻野小地区の 魅力や誇り

トップ3

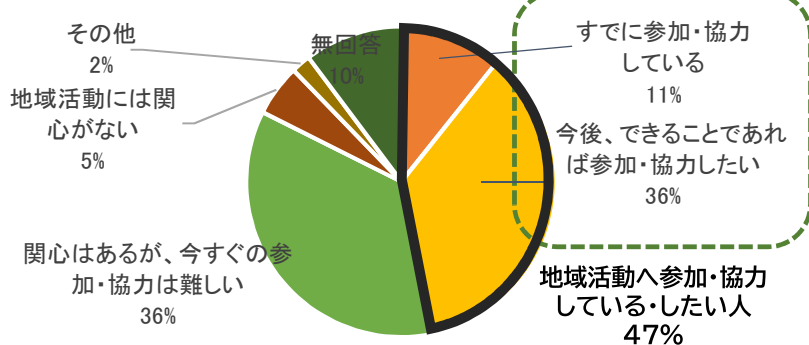
1. 田畑が残り、緑や自然が豊かなところ
2. 買い物や交通の便がよいところ
3. 人がやさしく、穏やかで住みやすいところ

※自由記述から同じ趣旨の意見を集めました。

地域の行事・活動に関する 情報は届いていますか



今後地域活動への 参加・協力



アンケート結果からは、多くの方が荻野小学校地区に愛着を持ち、地域での生活に満足しており、自然環境などの地域資源や生活の便利さ、人のあたたかさに魅力や誇りを感じているということが分かりました。

また、半数近くの方は何らかの形で地域活動に参加・協力をしたいと考えており、その中にはIT技術や英語、手話、ダンスなど多岐に渡る自分の経験や技術を地域活動に役立てたいと考えている人も多くいることが分かりました。

一方、地域の情報は半数近くの方へはあまり届いていない状況であることがわかり、これまでどおりの回覧板中心の広報手段も見直していく必要があることが分かりました。

地域の将来像（めざすべき姿）

自然豊かで 心つながる 安心安全なまち おぎの

この、地域の将来像（めざすべき姿）の実現に向けて、7つのテーマについて活動方針と行動計画を定め、既存の取り組みの継続を基本としながら、様々な活動を展開していきます。

7 つ の テ ー マ

健康・福祉
・高齢者

地域環境・
美化・緑化

防犯・防災
・交通安全

地域の活性化
・交流

子どもの
健全育成

地域拠点

地域自治の強化（広報・人材・組織・財源）

(1) 健康づくりの推進

事業計画	種類	担当	取組期間
・高齢者向けの健康体操	継続	生活環境部	
・グラウンドゴルフ大会	継続	生活環境部会	
・ラジオ体操	継続	自治会 有志グループ	
・子どもから大人まで参加できる健康づくり事業 (体力測定会・まち歩きイベント・スポーツイベントなど)	新規	全体 生活環境部会	短期～中期

(2) みんなにやさしいまちづくり

・体が不自由でも安心して生活できるまちづくり を検討(使いやすいバス停など)	新規	全体	中期～長期
・障がいがあっても参加しやすい行事を検討	新規	福祉部会	短期～中期
・通学路を見直す取り組み	継続	全体	



(3) つながりづくり・孤立防止

・あいさつ運動を広げる	拡大	総務部会 少年補導委員	中期～長期
・高齢者の見守り活動	継続	自治会 福祉部会	
・ふれあい福祉サロンの開催 (参加者増やせるようPR・2部制・放課後開催など)	継続	福祉部会	
・ふれあいバスツアー	継続	福祉部会	
・個人情報の保護をしながら情報共有できる仕組みをつくる	新規	全体	短期～中期
・ちびっこサロン(子育て中親子の集いの場)の実施	新規	福祉部会	短期～中期
・子ども食堂(だれでも食堂)を検討する	新規	全体	中期～長期
・オンラインによる輪・つながり・居場所づくりをする	新規	全体	短期～中期

(4) 高齢者の力を生かすまちづくり

・高齢者の技術や経験を生かせる人材バンク	新規	地域交流部会	中期～長期
・高齢者にも役割を持ってもらう	新規	全体	中期～長期

(1) 自分たちのまちを自分たちできれいにする

事業計画	種類	担当	取組期間
・ 定期的な清掃活動	拡大	生活環境部会 自治会	短期～中期
・ 自分たちできれいにすることの啓発	拡大	全体	短期～中期
・ 子どもたちにも引き継ぐ (ゴミ拾いゲーム・親子でできる清掃作業など)	新規	全体・青少年部	短期～中期
・ ごみステーションのカラス対策	継続	生活環境部会 自治会	
・ 犬のふんの後片付けについての啓発 (啓発ポスター掲示など)	拡大	全体・自治会	短期～中期
・ たばこのポイ捨て防止 (公園での喫煙禁止の啓発など)	拡大	全体・自治会	短期～中期
・ 地域全体に花を増やす(花苗の配布など)	新規	全体	中期～長期

(2) 公園の活用

・ 公園に必要な遊具を地域で要望	新規	全体・自治会	中期～長期
・ 公園に地域で管理する花壇や花木を整備 (手入れしやすい花木・ボランティア募集など)	継続	全体・自治会	
・ 公園の新しい活用方法を考える	新規	全体	中期～長期

(3) 自然や天神川の活用

・ 自然を守る清掃活動 (散歩しながらなど無理のないやり方を検討)	継続	全体	
・ 天神川など自然の新しい活用方法検討	新規	全体	中期～長期
・ 自然や農業を活用した子どもや親子の体験活動	拡大	地域交流部 学校	中期～長期

(4) 街路樹の整備

・ 街路樹が適正に管理されているかチェック	継続	全体・自治会	
-----------------------	----	--------	--

(5) 住環境を守る

・ 住環境の良さをPRする	拡大	全体・自治会	中期～長期
・ 古い空き家が住環境を壊さないよう対策 (空家がないかチェックする仕組み、樹木の剪定を促す)	新規	自治会	短期～中期

(1) 交通事故防止と交通マナーの向上

事業計画	種類	担当	取組期間
・危険な場所を把握し対策する (危険個所の見回り、見づらい交差点の草刈りや剪定、狭い道の交通量が減るような仕掛けを検討)	拡大	福祉部会 自治会	中期～長期
・車や自転車の安全走行に対するマナーの向上	拡大	全体	中期～長期
・交通安全教室・自転車講習を実施 (映像による啓発、防災訓練と同時に自転車教室、子どもが企画する講座)	拡大	防犯防災部会	短期～中期



(2) 災害に強いまちづくり

・避難場所の周知	継続	防犯防災部 自治会	
・災害井戸の場所の周知 (すでにある災害井戸マップを配布するなど)	拡大	福祉部会 自治会	中期～長期
・防災訓練・避難訓練の実施 (地区の防災の日を決め毎年決まった日に防災訓練を実施)	拡大	防犯防災部 自治会	中期～長期
・家庭での備えを支援する (家庭用消火器の共同購入、災害時の備えの講習)	新規	防犯防災部 自治会	短期～中期



(3) 防犯活動で安全なまちづくりをすすめる

・防犯カメラ設置場所の周知・わかりやすく表示	拡大	防犯防災部 自治会	中期～長期
・街路灯を増やす箇所を検討 (狭い路地・天神川沿い・公園など)	拡大	福祉部会 自治会	中期～長期
・通学路の見守り活動	継続	青少年部・防犯 防災部・自治会	
・防犯パトロール活動	継続	防犯防災部 自治会	

(4) お年寄りを詐欺被害からまもる

・お年寄りを詐欺被害から守る (出前講座・回覧などで啓発)	拡大	婦人部会 自治会	短期～中期
----------------------------------	----	-------------	-------



(1) 誰もが気軽に集える場づくりをすすめる

事業計画	種類	担当	取組期間
・近所の人を知り合える場をつくる (様々な世代が気軽に集まれるカフェ、公園に集えるテーブルやベンチを整備するなど)	新規	全体	短期～中期

(2) 事業や活動の魅力を高める

・事業の複合化をすすめる (清掃+BBQ、清掃+ゲーム、ウォーキング+見守り、地域散策+健康づくり、炊出し+交流など)	新規	全体	短期～中期
・校区全体で取り組むことで一体感を高める事業 (校区で一つの夏祭りを盛り上げる、校区内一斉清掃など)	拡大	全体	短期～中期



(3) 多世代・国籍を超えた活動

・幼稚園での交流行事	継続	地域交流部会	
・3世代がつながる学び・遊び・スポーツ (子ども会の活動に大人も参加、3世代清掃活動)	拡大	全体 青少年部会	中期～長期
・外国人住民との交流機会を検討	新規	全体	中期～長期



(4) スポーツを通じた交流

・親世代を巻き込むイベント (SC21との共同事業、外遊びを学んで遊ぶ会など)	拡大	青少年部会 SC21	短期～中期
・高齢者と孫をつなぐニュースポーツの促進	拡大	地域交流部 SC21	短期～中期
・地元中学・高校と連携した活動	継続	青少年部会 学校	
・夏祭りの盆踊り踊り手の育成	継続	婦人部会	



(5) 体験を通じた交流

・子どもや親子を対象とした体験型イベント (昔遊びの体験会、しめ縄づくり体験会、農業体験会など) (お年寄りには特技を生かしてもらう)	新規	地域交流部会	中期～長期
---	----	--------	-------

(6) 歴史・史跡を活用した特色づくり

・歴史、史跡、神社、寺などの保存活動 (歴史研究部会の創設を検討)	拡大	全体 自治会	短期～中期
--------------------------------------	----	-----------	-------

(1) 子どもがのびのびと遊べる場所、安心できる居場所づくり

事業計画	種類	担当	取組期間
・子どもが自由に交流できる場所をつくる。 (放課後の居場所、子ども向けのおやつサロン(ゲーム・交流)など)	新規	全体	短期～中期
・子ども食堂(だれでも食堂)を検討する	新規	福祉部会	中期～長期
・地域の協力による学習事業 (九九教室、昔のあそび、昔のはなし など)	継続	地域交流部 学校	
・ボール遊びのできる場所を確保する	拡大	青少年部 自治会・学校	短期～中期
・子どもがのびのびと遊べ、清潔な公園にする (遊びのリーダーを育てる、喫煙やポイ捨て禁止の啓発)	拡大	地域交流部会 生活環境部会	短期～中期

(2) 子育てしやすいまちにする

・子育て中の親同士のつながりを活発にする (就学前のちびっこサロンの開催など)	新規	福祉部会	短期～中期
・あいさつ運動の実施	拡大	少年補導委員 総務部会・全体	短期～中期
・自然や田畑など地域資源を生かした体験活動 (親子体験活動を検討、子ども会に地域の人も参加)	新規	地域交流部 子ども会	中期～長期



(3) 子どもの安全を守る

・危険な通学路をなくす(通学路を定期的に点検)	継続	青少年部会 福祉部会	
・登下校時の見守り強化 (登下校時間に合わせたウォーキング、通学路にウォーキングポイントつくるなど、横断旗の各子配布)	拡大	全体 PTA	短期～中期
・子どもに対する犯罪防止活動 (合同パトロール、学校での防犯教室に参加など)	拡大	防犯防災部会 自治会・学校	短期～中期

(4) 子ども向けのイベントを開催する

・商店や飲食店に協力してもらいイベント開催 (駄菓子屋での夜店、バルや屋台村など)	新規	全体	中期～長期
・スポーツを通じた交流事業の実施 (なわとび・リレーカーニバル、外遊びを学んで遊ぶ会 (Sケン・鬼ごっこなど))	拡大	全体	短期～中期



(5) まちづくりへ子どもたちも参画する

・子どもが講座を企画したり地域をPRする (授業の地域についての学習に地域が協力、子どもの声を広く発信など)	拡大	全体・学校	中期～長期
---	----	-------	-------

(1) 誰もが気軽に集える場づくりをすすめる

事業計画	種類	担当	取組期間
・近所の住民がお互い知り合える場を増やす (様々な世代が集まれるカフェ、公園に集いやすいようテーブルやベンチを整備、親子で遊べる場所など)	拡大	全体・自治会	短期～中期

(2) 共同利用施設を誰でも使いやすくする

・共同利用施設の利用者を増やす (セミナーの充実、だれでも参加できるイベントを開催、利用方法の広報 など)	拡大	全体 センタ管理運営委員会	短期～中期
・予約方法を見直して使いやすくする(予約方法の広報、インターネット予約など)	新規	総務部会 センター管理運営委員会	中期～長期
・共同利用施設の新しい使い方を検討する (道の駅「おぎの」、手作り市、フリーマーケットの開催など)	新規	総務部会	中期～長期

(3) 既存の活動場所だけではなく様々な活動場所を検討する

・民間の協力を得て活動場所を増やす (病院に協力してもらいトレーニングルーム、商店に協力してもらいイベント など) (神社・お寺・空き家・空き地 などの活用)	新規	総務部会	中期～長期
---	----	------	-------



7 地域自治の強化 (広報・財源・人材・組織)

7.テーマごとの 活動方針と行動計画

(1) さまざまな世代へ地域活動の魅力を伝え、参加機会を作る

事業計画	種類	担当	取組期間
・子どもたちに地域の魅力を知ってもらう (小学校と協働し「まちあるき」を実施)	継続	全体・自治会	短期～中期
・小中高生が地域活動に参加できる機会を確保 (子どもの声を発信、中学生が講師となって講座開催、地域での学習事業へ高校生のボランティア参加 など)	拡大	青少年部会 地域交流部会	短期～中期
・自治協議会や自治会について、知ってもらえる機会を増やす (ラミネートして掲示、ホームページ、学校HPと地域HPの相互リンク、YouTubeやSNSで発信 など)	拡大	総務部会	短期～中期
・デジタル化に伴う普及講座を実施し、使える人を増やす	新規	地域交流部会 福祉部会	中期～長期

(2) 小学校区全体の連帯感を高める

・小学校区全体でできる活動を検討する (防災訓練、避難訓練、一斉清掃、イベントの実施日は毎年同じ日にして習慣化する など)	拡大	全体	短期～中期
--	----	----	-------

(3) 人材(担い手)確保・組織の強化

・自治会の加入率を高める (自治会のメリットを確認、意見を聞ける目安箱の仕組みを検討)	拡大	総務部会・自治会	短期～中期
・役員の負担軽減、なり手を増やす (役員の任期を決めておく(長すぎず短すぎず)、次世代の担い手の育成方法研究、有償ボランティアの検討)	拡大	総務部会	短期～中期
・事業を複合化して省力化する (イベントの数は増やさず達成できる目的を増やす。清掃とゲーム、ウォーキングと見守り、まちあるきで学びと健康 など)	新規	全体	短期～中期
・自治協議会の各団体の協力強化	拡大	全体	短期～中期
・校区内の民間企業・事業所・農家さんと協力	拡大	全体 総務部会	短期～中期

(4) 財源の確保

・地域で使える財源確保の検討 (手作り市の開催、特産物を使った事業 など)	新規	総務部会	中期～長期
--	----	------	-------

私たちのまち「荻野小学校地区」は、緑豊かな自然環境に恵まれ、古くから植木の産地として発展してきました。

この豊かな自然と歴史、人々のやさしさを次世代に継承し、さらに魅力あふれる「荻野小学校地区」を目指して、令和2年度から2年間をかけて、全住民を対象とした「アンケート」の実施や子どもたちとの「まちあるき」、協議会理事の方々を中心にご議論いただいた「意見交換会」を経て、この「地域ビジョン」にまとめてまいりました。

地域のみなさんの意見が詰まった、この『地域ビジョン』を今後の地域活動の道しるべとし、まずは今後10年間、自治会をはじめ各種団体が協働し、住民の皆さまお一人お一人の主体的な参加と協力をいただきながら、地域の将来像

「自然豊かで 心つながる 安心安全なまち おぎの」を目指して、取り組んでいくことが必要です。

住みよいまちづくりには、あなたの力が必要です。

ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和4年 月

荻野小学校地区自治協議会

会長 阪上 忠昭

荻野小学校地区 地域ビジョン

自然豊かで 心つながる 安心安全なまち おぎの

作成・発行 荻野小学校地区自治協議会
編集協力 伊丹市まちづくり推進課
発行年月 令和4年（2022年） 月